

2023年6月19日

各位

オリックス株式会社

FIP 制度を活用した電力受給取組を開始 ～環境価値の提供など需要家向けに新たなサービスを展開～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、このたび、FIP 制度^{※1}を活用した電力受給取組を開始しましたのでお知らせします。

オリックスは現在、国内 920MW の太陽光発電を手掛けています^{※2}。このたび、Valhall 合同会社（本社：東京都渋谷区、社長：セーアン・エーヤースベク・イェンスン）と電力受給契約を締結し、現在 FIT 制度^{※3}で運営している東海地方 3 カ所の太陽光発電所^{※4}を FIP 制度に移管するとともに、当該発電所の発電量全量を Valhall に売電します。

2012 年に開始された FIT 制度は、一定期間の売電収入が保証されるため、国内の再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の拡大に寄与しました。2022 年 4 月には、さらなる再エネ普及とともに国民負担の抑制や発電に伴う環境価値の創出などを目的として、FIP 制度が導入されました。FIP 制度は、発電事業者が卸市場などで売電した際に、売電価格に対して一定のプレミアム（補助額）が上乗せされるほか、発電事業者と需要家の間で環境価値^{※5}の直接取引を可能とします。2024 年度以降、250kW 以上の太陽光発電事業は、FIP 制度のみ利用可能となります。

オリックスは、これまで電力需要家の敷地や屋根などを借り受けて太陽光発電システムを設置し、発電した電力を需要家に供給するコーポレート PPA 取組を推進しています。今後は FIP 制度を活用したコーポレート PPA 取組に注力し、RE100 参加企業などに対して相対で環境価値を提供するなど、新たなサービスを展開します。

オリックスは、2050 年カーボンニュートラル実現にむけて、再エネの主力電源化に向けた取り組みを推進し、持続可能な社会を実現してまいります。

※1 Feed in Premium の略称。

※2 地上設置型で約 100 カ所、屋根設置型で約 300 カ所の所有・運営（2023 年 3 月末時点）。

※3 Feed in Tariff の略称。再生可能エネルギーで発電した電気を、一般送配電事業者が一定価格で一定期間買い取るとを国が約束する制度のこと。

※4 三重県四日市市、岐阜県多治見市、および愛知県小牧市に所在する合計認定出力：1,410kW

※5 再エネで発電した電気が持つ、二酸化炭素（CO₂）を排出しないという付加価値のこと。

以上

<本件のお問い合わせ先>
グループ広報・渉外部 逸見・井上
TEL : 03-3435-3167